

様式1 (主な取組)

活動指標名	改築面積				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
実績値	50,313m ²	39,367m ²	20,401m ²	32,812m ²	36,170m ² (H30)	60,800m ²	59.5%	2,563,568	概ね順調	<p>公立小中学校施設の耐震化を推進するため、設置主体の市町村と連携して旧耐震基準で建設された老朽校舎の解消及び施設環境の向上を図る。</p>
活動指標名	耐震化計画に基づく事業実施率				R元年度					
実績値					100.0% (38棟/38棟)	100%	100.0%			
活動指標名					R元年度					<p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>令和元年度は耐震化計画に基づき全ての事業実施したことで達成率は100%で、令和元年度の改築面積は32,812m²で達成率は54.0%となったため、概ね順調となった。</p> <p>既存建物を残したまま耐震化する耐震補強事業を実施したことで、耐震化は進んだが、改築面積が計画値に満たなかった。</p>
実績値										
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、市町村に対し施設整備事業の前倒しを研修会やヒアリング、通知等により働きかけ、学校施設整備に係る所要額をとりまとめ、必要な予算確保や補助単価の引き上げ等について、県関係部局や国に働きかけ、老朽校舎の解消を図る。 予算繰越について、事業主体である市町村に対し、研修会やヒアリング等の中で更なる早期執行や執行体制の強化を促進し、改築事業等の円滑な実施を働きかける。 						<ul style="list-style-type: none"> 公立学校施設整備担当研修会を3回開催し、ヒアリングや通知等により、耐震化の促進や、予算の早期執行、体制強化及び繰越額や不用額の圧縮について働きかけた。また、概算要求額に基づき、国に対し要請活動を行い、市町村要望額の確保を図った。 施設整備担当者研修会を開催し、予算の早期執行と執行体制の強化を働きかけた。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

内部要因	外部環境の変化
<ul style="list-style-type: none">・施設整備にかかる事業の前倒しを研修会や通知等により市町村へ働きかけているところだが、市町村教育委員会の財政が厳しく、毎年度の市町村予算の確保が厳しい状況の中で、公立学校施設の改築・改修をどれだけ効率良く事業を行うことができるか等の課題がある。	

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・公立学校施設の老朽校舎の改築に加えて、耐震補強等の改修を図る等、今後の事業実施に際して、事業主体である市町村教育委員会と連携し、積極的に対応する必要がある。
- ・予算繰越について事業主体である市町村教育委員会において、執行体制が厳しい状況にあることから、更なる執行体制の強化が重要となる。



4 取組の改善案 (Action)

- ・引き続き、市町村に対し施設整備事業の前倒しを研修会やヒアリング、通知等により働きかけ、学校施設整備に係る所要額をとりまとめ、必要な予算確保や補助単価の引き上げ等について、県関係部局や国に働きかけ、老朽校舎の解消を図る。
- ・予算繰越について、事業主体である市町村に対し、研修会やヒアリング等の中で更なる早期執行や執行体制の強化を促進し、改築事業等の円滑な実施を働きかける。

様式1(主な取組)

活動指標名					R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
改築面積					実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B	2,090,566	大幅遅れ	<p>安全な教育基盤確保のため、老朽化した高等学校施設3,876㎡の改築を行った。</p>
	9,267㎡	7,964㎡	7,407㎡	6,080㎡	3,876㎡	8,024㎡	48.3%			
活動指標名					R元年度			2,090,566	大幅遅れ	<p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>改築面積は3,876㎡となっており、計画値である8,024㎡に及ばず大幅遅れとなった。要因として、事業の一部に入札不調・不落が発生し、事業全体の進捗に遅れが生じたことや、新增築事業の比重が大きくなったことにより、計画どおりの整備が実施出来なかった。今後も、老朽校舎の改築事業を進めることにより、学校施設の安全性の向上に努めていく。</p>
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R元年度			2,090,566	大幅遅れ	<p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>改築面積は3,876㎡となっており、計画値である8,024㎡に及ばず大幅遅れとなった。要因として、事業の一部に入札不調・不落が発生し、事業全体の進捗に遅れが生じたことや、新增築事業の比重が大きくなったことにより、計画どおりの整備が実施出来なかった。今後も、老朽校舎の改築事業を進めることにより、学校施設の安全性の向上に努めていく。</p>
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携を密に取ることで、課題の早期対応を目指し、事業推進についてより一層の円滑化を図る。 工事の早期発注に向けた入札手続き等に速やかに着手できるよう事務手続きの迅速化を図る。 						<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携を密にし、今後の予定の確認及び課題に対する認識の共有を行った。 事業の進捗状況を行い、事業の早期執行及び円滑化に取り組んだ。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

内部要因

・実施事業については、事業の早期執行及び円滑化に取り組んだ。一方で、特別支援学校(那覇みらい支援学校)の新築事業が本格化したことにより、県立高等学校施設の改築事業量が減少した。

外部環境の変化

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・令和2年度については、特別支援学校(那覇みらい支援学校他1校)の整備を実施しつつ、県立高等学校の危険改築事業を新規に実施(開邦高校他1校)するために必要な事業費を確保し、安全な教育基盤の確保に努める。

4 取組の改善案 (Action)

・当面は、老朽化した高等学校施設の改築を、引き続き計画的に進めていくこととするが、将来的には、令和2年度に策定する県立学校施設の長寿命化計画に基づき、延命化のための改修等の手法による教育基盤の整備も進めていく。

様式1(主な取組)

活動指標名	対策面積				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	35,858㎡	24,661㎡	20,422㎡	8,519㎡	19,242㎡	31,600㎡	60.9%	464,635	やや遅れ	安全で環境に配慮した教育基盤を整備するため、県立学校施設19,242㎡の塗装改修及び屋根防水改修を実施した。
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										令和元年度における活動指標の対策面積は、計画値31,600㎡に対し、実績値は19,242㎡で、やや遅れとなっている。遅れている12,358㎡については、優先順位をつけ工事を実施する。令和元年度に工事实施した施設に関しては、常に安全な学校施設等が維持されるとともに、耐用年数を延ばすことができ、長期的なコスト縮減に寄与できた。
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 学校運営に支障をきたさないように、工事の発注時期を前年度中に学校と日程調整を行い、円滑に工事が行える体制を整える。 工事期間の延長が起こりうることを想定して、工事の早期発注に取り組む。 						<ul style="list-style-type: none"> 工事発注の前年度に設計業務委託を実施しているが、設計段階から学校側に工事予定年度の学校行事日程を確認し、学校運営に影響の少ない時期に工事を実施した。 令和元年度の発注した工事(12件)の全てで工期延長があった。工事の早期発注に努めたが、その内2件の工事で繰越手続きをおこなった。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

内部要因

- ・前年度中に学校と発注時期の調整を行ったが、工事期間中には細かな日程調整が必要となる。(騒音が発生する工事や悪天候により工事ができない期間が発生するため)
- ・防水工事は雨天時に施工すると耐用年数前に不良箇所がでる可能性があるため、施工する日程調整が難しい。

外部環境の変化

- ・台風被害などで、建築年数の浅い建物でも雨漏り修繕の要望が学校側から挙げられている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・多数ある学校側からの補修工事の要望に、被害の大きい箇所などから優先順位をつけ適切に工事を実施していく。
- ・工事時期を調整して実施する。(学校行事などと重ならないように、工事時期を配慮する必要がある。)

4 取組の改善案 (Action)

- ・学校運営に支障をきたさないように、工事の発注時期を前年度中に学校と日程調整を行い、円滑に工事が行える体制を整える。
- ・工事期間の延長が起こりうることを想定して、工事の早期発注に取り組む。

様式1(主な取組)

活動指標名	対策面積				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要	
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				
	3,455㎡	2,293㎡	2,998㎡	2,521㎡	5,161㎡	3,000㎡	100.0%	85,281	順調	安全で環境に配慮した教育基盤を整備するため、特別支援学校施設5,161㎡の塗装改修及び屋根防水改修を実施した。	
活動指標名					R元年度						
実績値										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	令和元年度における活動指標の対策面積は、計画値3,000㎡に対し、平成30年度の予算要望時の計画どおり5,161㎡の工事を実施した。活動指標を2,161㎡上回り、順調であった。工事実施した施設に関しては、常に安全な学校施設等が維持されるとともに、耐用年数を延ばすことができ、長期的なコスト縮減に寄与できた。
活動指標名					R元年度						
実績値											
活動指標名					R元年度						
実績値											
(2)これまでの改善案の反映状況											
令和元年度の取組改善案						反映状況					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事期間中の細かな日程調整で工事工程の遅れの期間を見込んだ工事発注計画を立てる。また、計画遂行のために設計精査及び契約手続きの早期着手を行うことで、工事の早期発注に取り組む。 						<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校運営に支障をきたさないように、工事の発注時期を前年度中に各学校（一部学校除く）と日程調整を行い、円滑に工事が行える体制を整えた。 					



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

内部要因

・前年度中に学校と発注時期の調整を行ったが、工事期間中には細かな日程調整が必要となる。(騒音が発生する工事や悪天候により工事ができない期間が発生するため)

外部環境の変化

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・工事期間中の細かな日程調整で工程の遅れが起こりうると予測して、工事の早期発注に取り組む必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- ・工事期間中の細かな日程調整で工事工程の遅れの期間を見込んだ工事発注計画を立てる。
- ・計画遂行のために設計精査及び契約手続きの早期着手を行うことで、工事の早期発注に取り組む必要がある。